

～使用者の感じた感覚をいかに正確に評価し、商品設計やマーケティングに結び付けるか?～

1名分料金で
2人目無料

感性・官能評価用アンケートの 設計と物性値への落とし込み

◆日時:2019年3月28日(木)10:30～16:30

◆会場:江東区産業会館 第5展示室

◆聴講料:1名につき49,980円(税込、昼食・資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申し込みされた場合、1名につき**47,250円**

・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,980円)**

※学生のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師:山形大学 工学部 バイオ化学工学科/化学・バイオ工学科

理工学研究科 バイオ化学工学専攻 教授 野々村 美宗 氏

ご専門: 界面化学、化粧品学

ご略歴: 1996年慶應義塾大学大学院後期博士課程修了、花王株式会社入社。11年間メイクアップ化粧品、皮膚洗浄料の商品開発を担当し、2007年から現職。日本化学会コロイドおよび界面化学部会奨励賞(2008年)など受賞。

【修得できる知識】

- ・官能評価のやりかた
- ・データの解析の仕方
- ・官能評価に基づいた商品設計の実例
- ・物性・官能評価に基づいた触覚の評価と制御

【講座趣旨】

官能評価は食品・衣料・化粧品から自動車・情報機器・ロボット・まであらゆる商品開発の現場で使われる必須のツールです。しかし、使用者の感じた感覚を正確に評価し、商品設計やマーケティングに結び付けるのは難しいものです。このセミナーでは、アンケートを設計、得られたデータを解析し、商品設計の基本になる物性値に結び付ける方法を、具体例を交えて説明します。

1. 官能評価とは?

- 1.1 なぜ官能評価をするのか? 1.2 機器分析との違いと特徴
1.3 官能評価のプロセス 1.4 倫理審査

2. 官能評価に影響を及ぼすファクターとそのコントロール

- 2.1 評価方法の種類 2.2 実験環境をどうするか?
2.3 試料数とその提示法 2.4 パネルの選び方と数
2.5 評価に使うことばの選び方 2.6 官能評価の尺度と特徴

3. 官能評価用質問紙の作り方

- 3.1 フェイスシートにはどんな内容を盛り込むか?
3.2 質問紙の具体例

4. 官能評価データの解析

- 4.1 データ解析の基本
・平均 ・分散 ・標準偏差 ・ガウス分布 ・t分布
4.2 検定:2つのスコアの間に差があるか?

4.3 相関分析:2つの変量の間の関係

4.4 回帰分析:3つ以上の変量の間の関係

4.5 高度な解析法

・クラスター分析 ・パス解析 ・共分散構造解析

5. 感覚に関する機器分析の一般的な考え方

6. 手触り・触感のメカニズムと定量化技術の最新動向

- 6.1 ヒトの触覚認識メカニズム
6.2 触覚センサと触覚ディスプレイ
6.3 自動車用材料・情報機器・スポンジ・樹脂材料への応用
6.4 手触りがひとそっくりの人工皮膚の開発
6.5 触覚による水認知のメカニズム
6.6 水の触感のディスプレイの可能性
6.7 さらさら・べたべた・しっとり物理的起源
6.8 シルクのような手触りの粉黛とその化粧品への応用

【質疑応答】

『官能評価アンケート』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送